

高等教育の質の向上を目指して



Japan
University
Accreditation
Association

私たちが目指すこと

「会員の自主的努力と相互援助によって、わが国における大学の質的向上を図るとともに、大学の教育研究活動等の国際的協力に貢献する」

「高等教育の質の向上を目指して」

大学評価をはじめとした各種の評価活動を通じて大学の質を社会に対して保証するとともに、改善に向けた取組みを支援することで質の向上を支援しています。

01

「大学評価のフロントランナーとして」

本協会は、1947（昭和 22）年に設立されたわが国で最も歴史のある評価機関です。同年には、大学の質の維持・向上のための「大学基準」を設定し、1951（昭和 26）年からは正会員になるための適格判定を開始しました。1996（平成 8）年からは大学による自己点検・評価を基礎にした大学評価を開始し、2004（平成 16）年には大学の認証評価機関第 1 号として文部科学大臣より認証されています。

02

「グローバル化する世界と 高等教育の未来に向けて」

国内外の高等教育に関する調査研究に取り組み、評価システムの改善・向上に努めるとともに、研究成果を社会に公表しています。また、海外の質保証機関との連携を強化し、本協会の評価が国際的にも通用するよう努めています。

03

認証評価制度とは？

大学、短期大学、高等専門学校、専門職大学等及び専門職大学院が、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、定期的（大学、短期大学及び高等専門学校は7年以内ごと、これに加え、専門職大学等及び専門職大学院は5年以内ごと）に、文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受ける制度のことです。



この度、大学基準協会の会長を拝命し、身の引き締まる思いでございます。2023年7月27日、会長選挙の際に、日頃から認証評価について考えてきたことを述べた所信の骨子もご紹介しつつご挨拶を申し上げます。

2016年から2019年まで本協会の評議員を、そして2019年から2022年まで理事、その後は会長に就任するまで広報担当の常務理事として本協会の業務に関わってまいりました。広報では、高等教育界を超えて、より多くのステークホルダーに本協会の事業を伝えられるようにと考え、大学の認証評価の成果を、高校の教員や生徒の皆様にも伝えるための企画も検討しているところでした。

大学の認証評価事業では、各大学のベテランの大学人が評価する側にまわり、また評価される側にも同様の大学関係者が配置されます。膨大な時間とエネルギーを要するこれらの活動成果は、認証という「評価のための評価」だけでなく、真に大学をより良くするためにもっと活用されるべきです。同時に、認証評価の具体的な情報は、高校生や大学生、社会人が、昭和の時代から続いている偏差値、倍率、志願者数といった数値に拘泥することなく、自身の成長によりフィットした大学・大学院選びに資するよう、生かされるべきではないでしょうか。

他方で、本協会は高等教育機関を評価する機関であるからこそ、自らの組織についても評価を受け、国際標準に対応できるようになることも必須です。この度、INQAAHE(The International Network for Quality Assurance Agencies in Higher Education)による国際的な認証を得たことは誠に喜ばしいことですが、よりいっそう国際的な通用性や互換性のある活動や取り組みを展開していかなければなりません。そのためにも、風通しの良い執行部とのフラットなコミュニケーションが不可欠です。これまでもそうであったように、協会自体にリベラルな文化を醸成し続けることが重要であると考えています。

日本の高等教育界の大きな課題の一つは、世界から圧倒的な遅れを取っているジェンダー平等です。2023年に発表された世界経済フォーラムのジェンダーギャップ指数の教育分野において、識字率や初等、中等レベルの就学率でのジェンダーギャップについては世界で1位であるにも拘らず、高等教育レベルでは105位という評価を本協会としても看過すべきではありません。

これまで高等教育機関の多様性を尊重し、教育研究水準の向上に一定の役割を果たしてきた本協会が、日本の、そして世界の高等教育の前進にさらなる貢献ができるよう、皆様のご協力をお願いする次第です。

公益財団法人大学基準協会 会長

たかはし ゆうこ
高橋 裕子
(津田塾大学長)

〈 会 員 制 度 〉

本協会は、設立時から現在に至るまで、会員制によって運営されている自立的な団体です。

会員種別と会費

正会員

大学評価又は短期大学認証評価を受け、本協会への加盟が認められた大学・短期大学

会費：収容定員の合計に応じて 20 万円～ 120 万円

賛助会員

本協会の設立趣旨に賛同している大学・短期大学・団体（加盟審査なし）

会費：一律 10 万円

会員のメリット

- ① 各種委員会委員や評価者として、本協会の事業に携わることができます。
- ② 会員限定のセミナー等、高等教育に関する各種イベントに参加できます。
- ③ 広報誌『じゅあ』や『大学評価研究』等の刊行物が届きます。
- ④ 本協会からさまざまなお知らせがメールで届きます。



大学・短期大学スタディー・プログラム



学長セミナー

会員制度

■ 国立
■ 公立
■ 私立
■ 短期大学



2023.8.1 現在

役員名簿

役 名	氏 名	所 属 名	役 名	氏 名	所 属 名
会 長	高 橋 裕 子	津 田 塾 大 学	理 事	熊 谷 嘉 隆	国 際 教 養 大 学
			//	小 室 尚 子	金 城 学 院 大 学
副 会 長	益 一 哉	東 京 工 業 大 学	//	田 中 愛 治	早 稲 田 大 学
			//	蝶 野 成 臣	高 知 工 科 大 学
常 務 理 事	島 袋 香 子	北 里 大 学	//	曄 道 佳 明	上 智 大 学
//	堤 裕 昭	熊 本 県 立 大 学	//	畑 山 浩 昭	桜 美 林 大 学
//	仲 谷 善 雄	立 命 館 大 学	//	廣 瀬 克 哉	法 政 大 学
//	中 山 俊 憲	千 葉 大 学	//	藤 垣 裕 子	東 京 大 学
//	工 藤 潤	大 学 基 準 協 会	//	寶 金 清 博	北 海 道 大 学
			//	細 井 美 彦	近 畿 大 学
理 事	荒 川 一 郎	学 習 院 大 学	//	前 田 裕	関 西 大 学
//	石 川 正 俊	東 京 理 科 大 学	//	森 康 俊	関 西 学 院 大 学
//	石 崎 泰 樹	群 馬 大 学	//	矢 口 悦 子	東 洋 大 学
//	石 橋 達 朗	九 州 大 学	//	柳 井 雅 人	北 九 州 市 立 大 学
//	植 木 俊 哉	東 北 大 学	//	和 田 隆 志	金 沢 大 学
//	植 木 朝 子	同 志 社 大 学			
//	加 藤 光 保	筑 波 大 学	監 事	徳 久 剛 史	元 千 葉 大 学
//	河 合 久	中 央 大 学	//	村 上 雅 人	元 芝 浦 工 業 大 学

2023.8.1 現在

〈 事業概要 〉

本協会では、設立の目的を達成するため、主に3つの事業を軸に活動しています。



大学基準協会が選ばれる理由



信頼性

大学基準協会はわが国で最も歴史のある評価機関であり、文部科学大臣からも認証評価を行う機関として認証されています。日本の大学の半数以上が正会員又は賛助会員として加盟しています。

2012年には、公益財団法人※として認定を受けました。

※公益財団法人とは、法令に定められた厳しい基準を満たし、公益性の高い活動を行っていることが行政庁から認められた法人のことです。



客観性

大学教職員を中心に、外部有識者も加わった第三者による評価を行っています。また、分科会、委員会、理事会による段階的評価を取り入れています。



専門性

「大学評価研究所」における調査研究の成果を生かして評価システムを作り上げています。

また、専門的な識見を有する正会員大学の教職員等が評価者となり、本協会の大学評価システムについて理解を深めるための評価者研修を受講したうえで、評価を行っています。

〈 評価事業 〉

大学基準協会の評価は、いずれも本協会が定めた基準に適合していることをもって、社会に対してその質を保証します。
評価の結果、基準に適合していると認められた大学等には、認定証と認定マークが付与されます。

機関別認証評価

大学及び短期大学は、法令により7年以内ごとに大学・短期大学全体の認証評価（機関別認証評価）を受けることが義務付けられています。

専門職大学院認証評価

専門職大学院は、法令により5年以内ごとに専門職大学院認証評価を受けることが義務付けられています。

分野別評価

任意で受ける専門分野別の第三者評価です。

対象分野

大学

短期大学

法科大学院

経営系専門職大学院

公共政策系専門職大学院

公衆衛生系専門職大学院

知的財産専門職大学院

グローバル・コミュニケーション系専門職大学院

デジタルコンテンツ系専門職大学院

グローバル法務系専門職大学院

広報・情報系専門職大学院

認定証及び認定マーク

本協会の基準に適合していると認定された大学等には認定証と認定マークが交付されます。

大学評価の例

認定証



認定マーク



〈 評価システム 〉

評価基準

※機関別認証評価の場合

本協会が定めた「大学基準」及び「短期大学基準」をもとに、評価を行っています。
以下の10の基準には、それぞれに具体的な解説を付しています。



評価スケジュール

※機関別認証評価の場合



機関別認証評価の特徴



内部質保証システムの 有効性を重視する評価

内部質保証システム（＝大学が不断に質の向上を図り、適切な水準にあることを自ら説明・証明するための仕組み）の構築とその有効性を重視しています。



理念・目的の実現に向けた 取組みを重視する評価

大学が自らの理念・目的を実現するために行っている取組みやその達成状況を重視し、教育研究活動の充実・向上につながる評価を行っています。



ピア・レビューによる評価

大学の教育・研究活動や管理運営に携わっている大学の教職員を評価者とし、その経験と理解に基づく評価を行っています。



継続的な改善・向上を支援する評価

評価結果において示された課題の改善状況について報告書の提出を求め、それを検討することにより、継続的に大学の改善・向上を支援しています。

〈 調査研究事業 〉

本協会では、わが国の大学の質的向上に寄与し、大学の教育研究活動等の国際的協力に貢献するため、「大学評価研究所」を中心に、国内外の高等教育に関する調査研究に取り組んでいます。それらの成果は報告書等にまとめ、広く社会に公表しています。

大学評価研究所

大学を評価する機関にとって、評価システムの構築やその定期的見直しを図ることは重要であり、そのための調査研究は欠かせません。こうした観点から、本協会では2018年に「大学評価研究所」を設立し、以下の事業に取り組んでいます。

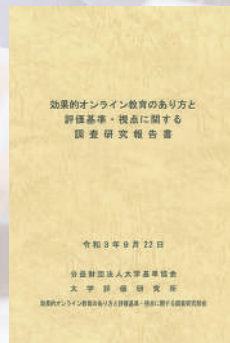
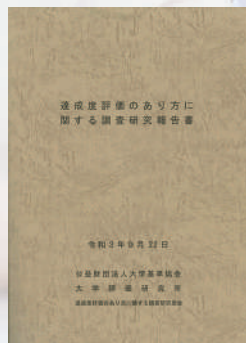
調査研究プロジェクトの実施

時宜に合った調査研究プロジェクトを毎年度実施しています。

プロジェクト一覧

- ・「教職課程の質の保証・向上を図る取組の推進調査研究」
- ・「達成度評価のあり方に関する調査研究」
- ・「効果的オンライン教育のあり方と評価基準・視点に関する調査研究」
- ・「教学マネジメントに関する調査研究」※
- ・「学士課程教育における現代社会で求められている課題に対応する能力育成に関する調査研究」※

※・・・実施中のプロジェクト



研究大会や公開研究会の開催

研究成果等を報告する年1回の研究大会と年数回の公開研究会を開催しています。



研究大会



公開研究会

JUAA 選書、『大学評価研究』等の刊行

JUAA 選書や、研究誌である『大学評価研究』等を刊行しています。

※ 刊行物ページ: <https://www.juaa.or.jp/publication/>



国際化事業

本協会は、国際的な質保証機関ネットワークに加盟し、質保証に関する国際的な動向の把握と情報発信に努めています。また、各国・地域の評価機関と連携を図り、国際共同認証の実施や職員の相互派遣などを通じて、評価の国際通用性の向上を目指しています。

協定締結機関

- ①  EFMD
European Foundation for
Management Development
- ②  台湾評鑑協会
TWAEA
(Taiwan Assessment and
Evaluation Association)
-  台湾高等教育評鑑中心基金会
HEEACT
(Higher Education Evaluation and
Accreditation Council of Taiwan)
- ③  韓国大学教育協議会
KCUE
(Korean Council for University Education)
-  韓国大学評価院
KUAI
(Korean University Accreditation Institute)
- ④  マレーシア資格機構
MQA
(Malaysian Qualifications Agency)
- ⑤  モンゴル教育評価協議会
MNCEA
(Mongolian National Council for
Education Accreditation)
- ⑥  タイ全国教育基準・質評価局
ONESQA
(Office for National Education Standards and
Quality Assessment)
- ⑦  ベトナム国家大学ホーチミン校教育評価センター
CEA VNU-HCM
(Center for Education Accreditation, Vietnam
National University Ho Chi Minh City)

加盟機関

INQAAHE

高等教育質保証機関国際ネットワーク

apqn
ASIA-PACIFIC QUALITY NETWORK

アジア太平洋質保証ネットワーク

CHEA
CIQG
2020-2021 CIQG Member

米国高等教育アクリディテーション協議会国際質グループ



アジア太平洋ビジネススクール協議会

共同認証プロジェクト



本協会は、2018 年度より台湾評鑑協会との相互協力の下に、日本と台湾の大学を対象とした国際共同認証を開始しました。2021 年度にはタイ全国教育基準・質評価局が加わり、日本、台湾及びタイの 3 カ国の大学を対象に実施します。この取組みを通じて、大学の国際化の推進と国際的な質保証に寄与していきます。

海外に向けた情報発信

本協会は、海外の評価機関に向けて毎年度の評価結果（英語版）をホームページに掲載しています。

※ 英語版ホームページ: <https://www.juaa.or.jp/en/>

情報公開



ホームページ
<https://www.juaa.or.jp/>



本協会の概要や各事業の内容、イベント等の最新情報を掲載しています。

① 評価結果検索

<https://www.juaa.or.jp/search/>

機関別認証評価（大学・短大）、各種専門職大学院認証評価、各種分野別評価の評価結果の全文を検索・閲覧できるページです。

② 大学の長所・特色検索

https://www.juaa.or.jp/case_study/

各種評価結果において「長所」又は「特色」と評価された大学の取組みを検索・閲覧できるページです。

③ 会員専用ページ

<https://www.juaa.or.jp/member/>

会員校（正会員及び賛助会員）向けのページです。セミナー等の資料やアーカイブズ資料等を閲覧できます。

ソーシャルメディアアカウント



@JUAAofficial

<https://twitter.com/JUAAofficial>

本協会の最新情報をお知らせしています。



大学基準協会公式 note

<https://note.juaa.or.jp>

本協会の活動や大学の取組みなどについて発信しています。



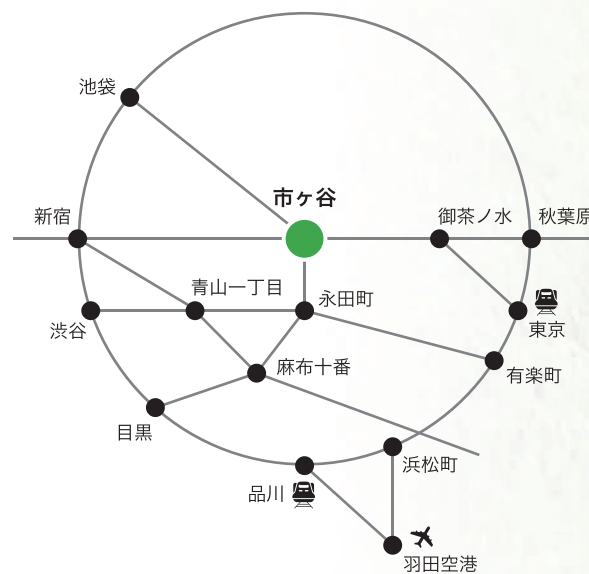
広報誌『じゅあ JUA』

<https://www.juaa.or.jp/publication/juaa/>

年2回発行・A4判。
PDFファイルでダウンロードできます。



アクセスマップ



- ・東京メトロ 有楽町線 / 南北線「市ヶ谷駅」5 番出口より徒歩 3 分
- ・JR 総武線「市ヶ谷駅」より徒歩 10 分
- ・都営新宿線「市ヶ谷駅」1 番出口より 徒歩 10 分

〒162-0842 東京都新宿区市谷砂土原町 2-7-13

TEL: 総務部: 03-5228-2020・評価研究部: 03-6228-1315・評価事業部: 03-5228-2112

E-mail: info@juaa.or.jp URL: <https://www.juaa.or.jp/>